

10月の区長メッセージ



品川区長 濱野 健



皆さんおはようございます。今日から10月、年度の折り返し点です。前半の進捗状況を振り返りつつ力強く後半に進みましょう。

少し前のことになりますが、経営会議の中で、私から、町会自治会の重要性について話をしました。別段に目新しい話ではありませんが、これからの社会には、まちの力や地域の力が不可欠になる、ということです。

介護も医療も、施設や病院という建物の中だけでは不可能で、在宅での介護や医療が必要になります。つまり、まち全体・地域全体が、介護施設であり病院でもある、ということです。

福祉からまちづくりまで、すべての事柄について、自助・共助・公助の組み合わせで対応していかなければならない、その共助を担うパワーが、町会自治会です。行政とのパートナーシップで地域を支えてくれる組織だと思います。

ところで、まもなく、秋の区政協力委員会が始まります。そこで出される町会からの要望については、よく聞き取り、丁寧に話し合っていきたい。従来から要望されながらお断りし続けてきたものについても、機械的な対応をせずに、今日的な観点から改めて検討した上で、回答してください。秋の深まる季節、風邪など引かないよう注意しながら、頑張りましょう。

(この区長メッセージは10月1日の朝の放送で流したものです。イメージアップ事務局より)